

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 98 号 平成 26 年 1 月 6 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張国市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

あけましておめでとうございます。

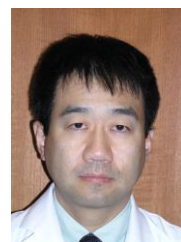
本年もよろしく願いたします。

地域連携室 一同



遺伝性乳がんについて

外科部長 高野 学



昨年 5 月に米国女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが乳がんのリスクを高める遺伝子変異が見つかったとして、両乳房の切除手術を受けたことを公表しました。この報道により、乳がんと遺伝の関係についての一般の方の興味が高まり、外来受診時にも質問を受けることがあります。現在の乳癌学会のガイドラインの内容について概説します。

近年乳がんの患者さんが増加しているのは、食生活の変化が大きな原因の一つであると考えられています。発症リスクに関与している原因として肥満・アルコール摂取が挙げられます。日本において乳がんの方の 5~10%程度が遺伝性であるといわれており、大多数の乳がんの方には遺伝性はないことがわかっています。遺伝性乳がんを考慮すべき状況としては、①若年発症乳がん、②一人の患者さんに、同時性・異時性に乳がんが多発している場合、③一人の患者さんに、同時性・異時性に卵巣がん、卵管がん、原発性腹膜がんが発症している場合、④家系の血縁者の中に 2 人以上の乳がんの方がいる、あるいは乳がんの方が 1 人でも他に卵巣がん、卵管がん、原発性腹膜がんの方がいる場合、⑤男性乳がんの方が挙げられます。

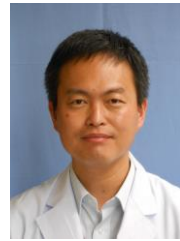
遺伝性乳がんの可能性が疑われる場合、BRCA1、BRCA2 といった遺伝子検査を受けることが可能です。BRCA (breast cancer susceptibility gene) はがん抑制遺伝子の一種であり、その変異により DNA が損傷を受けた際に修復がうまくいかなくなることがわかっています。現在 BRCA1/2 遺伝子の変異がある方の乳がんの生涯発症リスクは 65~74%とされています。ただし責任遺伝子はこれ以外にもあると考えられおり、乳がんや卵巣がんが多く見られる家系であっても、乳がんや卵巣がんを発症した方に必ず遺伝子の変異が見つかるわけではありません。

日本においては、すべての医療機関で BRCA1/2 の検査ができるわけではなく、保険適応もありません。遺伝カウンセリングを受けたうえで検査を受けるかどうかを自由意志で決めることとなります。

旭労災病院まつり「第1回健康チャレンジ」について

糖尿病内分泌内科部長

小川 浩平



登録医の先生方には平素より大変お世話になっております。さて、去る平成 25 年 11 月 9 日土曜日、当院で初めての病院まつり「第 1 回健康チャレンジ」が開催されました。尾張旭市及び周辺地域の市民の皆さまに健康への意識を高めていただくことが目的です。

参加型のまつりにしようと考え、健康チャレンジという参加型のレクレーションを中心にしました。バランス能力、肺活量、手指巧緻性をバランス年齢測定、傘袋で肺機能チャレンジ、モンキーツリーチャレンジと名付けて参加者にゲーム感覚で楽しんでもらうよう企画しました。感染対策の意識を高める“完ぺき！手洗いチャレンジ”もなかなか好評でした。チャレンジは 6 種類用意して、スタンプラリーのように全部クリアした参加者に健康グッズを景品として進呈しました。他にも、超音波式骨密度測定、体脂肪測定、血糖&HbA1c 簡易測定、高齢者疑似体験、みそ汁の塩分を知ろう、などの各種測定&体験コーナーも用意しました。さらに 30 分程度の 3 つのミニ講演会（子供の食育、外食の選び方、メタボ脱却）を開きました。

これらの企画は院内のボランティアが集まり、何度も話し合って決めました。とにかく初めてのことであり、何もかも手探りでした。いかに低予算で、楽しめるまつりにするかは、私たちにとってまさにチャレンジでした。前日の準備に当日の運営に創意工夫し力を合わせて手伝ってくれた 40 名のボランティアスタッフに感謝しています。

まつり当日は 145 名の方が来場され、大変な賑わいでした。グリーンシティケーブルテレビも取材に来て、ローカルニュースのそらまめ通信で取り上げていただきました。参加者アンケートでは多くの方から、有意義なイベントでありぜひ毎年やってほしいとありがたいご意見をいただきました。今後、更に素晴らしいまつりに発展して病院にも地域にも恒例行事として定着するように努力していきたいと思ひます。



医師異動のお知らせ

新任医師

整形外科医師

いんなみ ともひろ
印南 智弘（平成 26 年 1 月 1 日付）

退任した医師

整形外科医師

むらまつ よしたか
村松 由崇（平成 25 年 12 月 31 日付）